

や なみ しょう がつ しょう
矢並小学校

としょかんだより

令和7年12月19日

冬休み号

(絵・文責 高橋和香奈)

冬休みの貸出
 1人2冊
 返却日 1/9(金)

待ちに待った冬休み!!
 クリスマスやお正月など
 楽しい行事がたくさん
 ありますね。
 事故や体調に気をつけて、
 良い新年を迎えて下さいね。
 ☆ 2026年、また元気に会いましょう!!



おもちゃをアレンジして
 食べてみよう!!
 (お家の人と作ってね!)

☆揚げもちのカレー風味☆

(材料) 角もち...100グラム
 塩...少々
 カレー粉...少々
 揚げ油...適量



お正月 豆知識

大みそかにうつ除夜の鐘は、「人間には
 百八つの煩惱があり、それをはらうために
 百八つ鐘をうつ」という意味があります。
 また、むかしは、大みそかの日の入りが新しい
 日の始まりとされ、その日の夕食が新年
 最初の祝いの食事でした。江戸時代に
 始まった年越しそばもそのひとつ。

人生はそばのように細く長く幸せに、
 という意味があります。
 『子どもと楽しむ行事とあそびのえほん』
 のら書房より



- ①もちを1~2cm角に切っておく。
- ②①を、きつね色になるまで
 180℃ぐらいの油で揚げる。
- ③揚げたもちをクッキングペーパーにのせて、
 油をよく切り、熱いうちに塩とカレー粉を
 からめる。

なりたいた、料理の名人の『おめでとの正月料理』岩崎書店より

冬休みに 読んでみよう

『黒ねこのおきくさま』
 ルース・エインズワース (著)
 山内ふじ江 (イラスト), 荒このみ (訳)
 冬の嵐の晩、貧しい一人
 暮らしのおじいさんのもとに、一匹の
 黒ねこがやってきました。おじいさんは、自分の
 ための食べ物や大切な薪を使い、
 ねこを優しく迎えます。そんなおじい
 さんに奇跡が起ります。
 『ルリユール おじさん』いせひでこ (著)

わたしのこわれた本、なおしてくれる?
 少女ソフィーは、大事にしていた植物図鑑が
 こわれてしまい、ルリユール(製本職人)を訪ねます。本への愛情、
 時代をこえてつながる職人の誇りを描いた傑作絵本です。

今年もたくさん図書館に来てくれてありがとう!!
 来年もみなさんを待っています♪



こんげつ ほん 今月のおすすめ本



みんなが楽しみに待っているお正月！暖かい室内で過ごす時間も増えることでしょう。そんなときは本を読んで楽しい時間を過ごしてみませんか♪



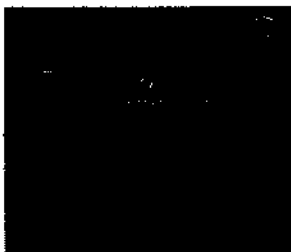
「十二支のはじまり」 岩崎京子／文 二俣英五郎／画 教育画劇

むかし、ある年の暮れ、神様は動物たちにおふれを出したんだと。「正月の朝、御殿に来るように。来た者から、12番まで、順番に1年ずつ、その年の大将にする。」ところがねずみはねこにうそを教えて…。



「とっておきの詩」 村上しいこ／作 市居みか／絵 PHP 研究所

学校から出された冬休みに詩を書いてくる宿題。ずっと考えてたけど1つもできなかった。ほんまは今日1つできたけど、ええことないわれて…。詩を作るって難しいけど、とっても素敵なことがおきました。



「みかんのひみつ」 鈴木伸一／監修 岩間史朗／写真撮影 ひさかたチャイルド

冬の果物の代表、ミカン。そのミカンのしくみや実のなり方など、成長の過程を連続写真等で分かりやすく解説。

おいしいだけじゃない、発見がいっぱい！自然とふれあえる写真絵本。



「はつてんじん」 川端 誠／作 クレヨンハウス

学問の神様、菅原道真をまつる天満宮の縁日は毎月25日。

新年になってから、天満宮にはじめてお参りに行くことを、初天神といいます。お父さんは息子を連れて初天神に行きました。…「あれ買ってこれ買ってと言わないから風買って！」…ユーモアあふれる落語絵本。